



韓国の姉妹都市ソサン市を訪問（議場で記念撮影）

田子町 議会だより

2016



第89号

平成28年10月26日発行
青森県田子町議会

目次

認定するが課題も……………	2
（平成27年度決算）	
一般質問に3議員登壇……………	7
スムーズな事業運営を……………	10
（議会活動報告）	
臨時会を傍聴して……………	12
（町の人にインタビュー）	

9月定例会は9月6日から13日までの8日間の会期で開催されました。

初日の本会議では、補正予算案5件の議案が提出され、町長から提案理由の説明がありました。

7日の一般質問には3人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論が交わされました。

8日には議案5件の審議をした後、平成27年度決算の認定について町長から議案が提出され、決算特別委員会を設置し審査を付託。3日間にわたり全会計の歳入歳出決算を審査し認定すべきものと決しました。

平成27年度決算
認定するが健全財政へ向け課題も

【一般会計の内訳】

民生費 9億2094万円

- ・三戸郡福祉事務組合負担金 1307万円
- ・介護給付費補助 8368万円
- ・福祉有償運送事業費補助金 188万円

総務費 8億6069万円

- ・田子町公共サイン制作整備業務委託料 241万円
- ・姉妹都市等国際交流事業委託料 530万円
- ・タプコピアンプラザ管理委託料 2594万円



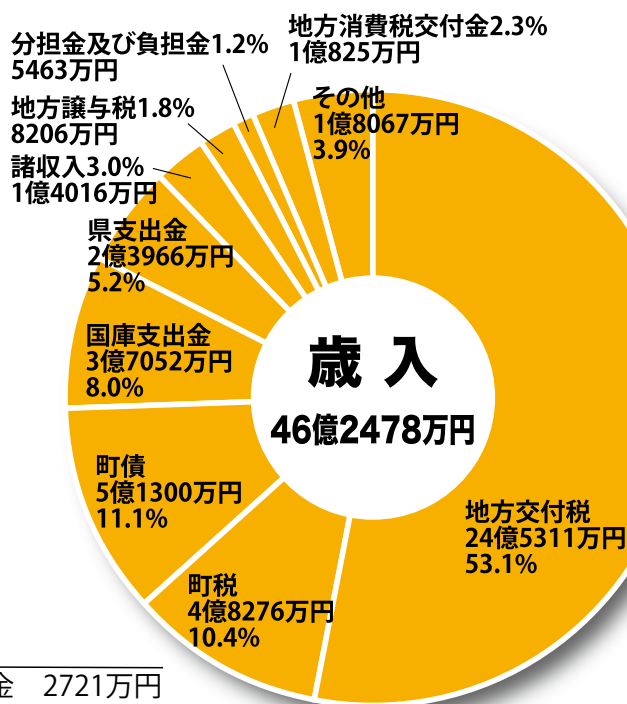
公債費 6億6939万円

- ・町の借金返済に使う費用



農林水産業費 4億6546万円

- ・たっこにんにく製品向上対策事業補助金 2721万円
- ・牽引式マニュアルプレッタ購入費補助金 341万円
- ・パイプハウス再生事業費補助金 135万円



決算審査意見書(要旨)
健全かつ着実な
財政運営を

一般会計及び特別会計とも、予算の執行は効率的かつ適正で、事業の執行についてもおおむね良好に進捗しており成果が認められた。

収入未済額においては、町税及び国民健康保険税は減少傾向だが、保育園運営費保護者負担金、町営住宅家賃は増加傾向にある。町全体の会計では依然として大きな金額であり、滞納整理の推進と県市町村総合事務組合との連携を一層強化し、徴収の効果を上げるとともに適正な欠損処分処理を望む。そのためには、庁内の連携と情報収集等に努め、より一層の協力が必要と思われる。なお、不納欠損処分については、その理由と手続等を慎重に審査し、実情やむを得ないものと認めた。

消防費 1億5392万円

- ・消防団デジタル受令機購入 267万円
- ・消火栓用ホース等購入 21万円



その他

- 商工費 1億3698万円
- 議会費 8222万円
- 労働費 91万円

災害復旧費 29万円

土木費 2億7105万円

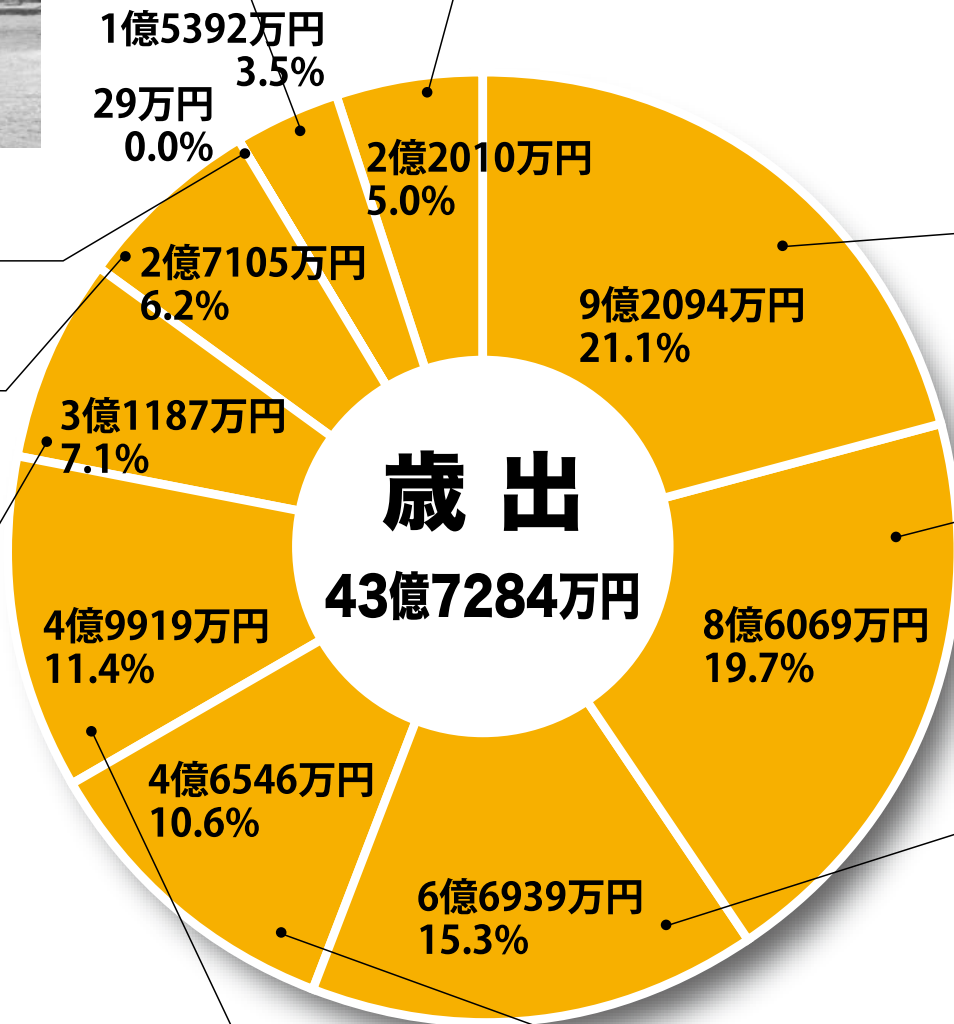
- ・橋梁定期点検業務委託料 982万円
- ・除雪ドーザ購入 1350万円
- ・安全安心住宅リフォーム促進支援事業補助金 336万円

衛生費 3億1187万円

- ・各種予防接種委託料 535万円
- ・墓園管理委託料 40万円
- ・インフルエンザ予防接種事業補助金 963万円

教育費 4億9919万円

- ・小中学校スクールバス運行委託料 2702万円
- ・上郷小学校改修工事設計監理委託料 114万円
- ・中高一貫教育推進事業費補助金 236万円



歳出面について、交付税等の減少で年々厳しさが増す昨今、健全かつ着実な財政運営を図るべく、歳出の抑制に努めなければならぬ。今後の事務事業の予算編成及び予算執行に当たっては、町財政健全化計画及び本町のおかれている現実への認識を深め、行政上の効果を高める努力を。特に他団体への補助金交付については、申請書並びに決算書の精査を綿密に行い適正なる交付を。

特別会計に係わる事業運営では、後期高齢者医療、介護保険事業勘定に係る経費が年々増加傾向にあり、一般会計からの繰入金依存度軽減のためにも予防医療事業に力を入れるなど創意工夫に努力されることを望む。

田子町監査委員

高沢靖直

日沢一雄

平成27年度決算審査特別委員会

町の決算を審査

9月8日から13日までの決算特別委員会では、委員長に砂子田康雄委員、副委員長に宮村尚哉委員が選任され、議員全員が委員となり、平成27年度決算について審査を行いました。予算が適正に執行されたかを審査するとともに、行政効果や経済効果を測定し、住民に代わって評価します。ここでは主な質疑を要約して掲載します。

歳入

歳出

問 澤口(勝)委員

町営住宅家賃と滞

納繰越分の収入未済額の内容は。

答 岩間建設課長

町営住宅家賃の収入未済額について、平成27年度分は39万400円。平成22年から26年までの繰り越し分は64万2100円。職員も訪問して徴収しているが、厳しい状況にある。現時点で22年度分は完了している。

2款 総務費

庁内コンピュータ

システムリース料

3272万4千円

問 尾形委員

ずっとやらないといけないと思うが、内容は。

答

山本総務課長

職員が業務で使用するコンピュータ150台の機器とシステムリース及び保守料。5年間の債務負担を組

んでいるので、総支出としては5年分。単年度では3272万4千円。

答 原副町長

コンピュータ関係は役場事務の中核を担うもの。以前はホストコンピュータがあり、各課に1台あれば良かったが今の標準モデルが1人1台の端末形態になっている。経費の節減については専門性が高いので検討が必要だと考えている。

つどいの休憩所

整備費補助金

150万円

問 尾形委員

つどいの休憩所の利用状況は。

答

中澤住民課長

北側・南側自治会が共同で北側にある民家を借りて改装したものの。集会施設としてだけでなく、フェザン通りの賑わいをつくる、子どもが何かあった時

に避難をする、市日等で休憩をするといった様々な目的を兼ね備えた場所として昨年の7月に開設をした。昨年度は74回くらいの開設日数で利用人数は130名以上。開設するときに管理上、地元の人

がつかないといけないというため、持ち回りの順番等、大変なところはあるが、利用できる回数を増やすことが今後の課題になるのではないかと考えている。

選挙費

2886万8千円

問 蹴場委員

選挙の投票時間について、他町村の状況視察を要望していたが、どうなったか。

答

山本町長

先進地を視察してくるとい話は出ていたが、時間が取れず実施できていない。次の町の選挙まで時間があるので、委員会に提案

したい。

問 蹴場委員

28年度の予算に選挙管理委員会委員の視察の予算を組み込めないか。

答

山本町長

選挙の形態が変わってきた事が背景にあると思われる。期日前投票をする人が増え、選挙日というより選挙期間というふうに町民の意識が変わってきている。予算を取り勉強してもらうことは大切だが、町民の皆さんの意識が変わってきていることを受けて、それにふさわしいやり方にしていくことが最も大事なことだと考えている。

6款 農林水産業費

植付等作業委託料

5万4千円

問 沢口(博)委員

にんにく収穫祭用のにんにく植付けの費用はいくらだったのか。あまり良いにんにくは採れなかったが、残ったにんにくはどうしたのか。また、畑は今後どう使う予定か。

答

内沢産業振興課長

昨年の植付け等の作業委託料で5万4千円。そこで収穫したにんにくは、今は冷蔵庫で保存しており、にんにくとべごまつり等のイベントで使い、販売はしない。

畑は土を入れ直し、もう一度土作りをして来年も収穫祭で使用する。

たつこにんにくオリ
ジナル品種育成委託
料

84万4千円

尾形委員

作業日誌等はしつ

かり整備されている

か。

答

白板にんにく振興
室室長

27年3月に農林水産
省に「田子1号」とし
て種苗登録の申請をし
た。現在は国の方で調
査中のため、登録され
る見通しはすぐ出ると
は言えないと回答をい
ただいている。

また、農家の人に配
布するため、同時に約
3町歩の増殖ほ場を用
意し耕作等をしている。
これまでにんにくの作
付けがなく、周りにも
にんにくやネギ類の作
付けがなく病害虫やセ
ンチュウの可能性が一
番低く管理の容易な場
所を選んで進めている。
種増殖の作業日誌は、
日誌の様式を定めて全

て管理するようにして
いる。定期的な作業が
終わった毎にいただき
ながら確認をしている。

7款 商工費

町観光協会補助金

200万円

沢口(博)委員

大きな使い道は。

答

内沢産業振興課長
「桜まつり」や「つ
つじまつり」等、各種
イベントや、ホームペ
ージ作成運営費の補助。

問

尾形委員

以前はにんにく焼
酎を作るために商工会
に貸し付けをしていた
が、現在はどうかって
いるのか。

答

山本町長

直前ではガーリッ
クセンターが間に入っ
て作っていたが、思う
ように売れていないよ
うだ。酒販会がやりた
いと言えば町は貸付け
を考えているし、ガー

リックセンターでの取
りまとめも考えている。
実際の売れ行きと在庫
の兼ね合いで、やろう
と思えばできる状況に
ある。

大黒森公共施設等管
理委託料

450万円

尾形委員

大黒森のロッジカ
ウベルは現在はどうな
っているか。

答

山本町長

今後、ロッジカウ
ベルや茅葺き屋根の家
は町においてになった
ときに宿泊して体験し
ていただく拠点にした
いと考えている。7月
に田子町出身者が企画
し、東京から19人が来
町し宿泊体験をした。
その時に、宿泊機能や
楽しませ方等について
モニタリングをした。
これらを元にして、誘
客ツアーや体験等々に
使っていくたい。

8款 土木費

沢口(博)委員

雀ヶ平の橋のここ
ろの土手が崩れていた
り、種子川の一部木が
倒れかかっている危な
い箇所があるが、県で
はとらえているのか。
また、町では把握して
いるか。

答

岩間建設課長

県管理の河川では
あるが、町でも気が付
いた箇所は県に報告し
ている。また、住民か
ら連絡があることもあ
る。ただ、県の方でも
熊原川にしろ他の県管
理の河川については、
災害復旧では対応する
が県単事業ではなかな
か整備が進まない。写
真を送ったりして県に
要望はしている。

9款 消防費

消防水利施設設置工
事

858万円

沢口(博)委員

まだ消火栓が不備
なところも多々ある
が、どのように考えて
いるか。

答

山本総務課長

3年くらい前に町
内全域を調査し、消防
水利が足りない地区に
防火水槽または消火栓
を設置した。消防委員
会で議論された中では、
ある程度全体的にカバ
ーできたかと考えてい
る。

答

山本町長

本来消火栓は、半
分の負担をいただいで
自治会で設置する事
になっている。公的な場
所等、自治会で設置で
きない場所は消防委員
会で検討していただい
て、必要があれば町で
負担して設置している。

総括質疑

宇藤委員

廃品回収は自治会
の貴重な財源になる。

全自治会にストックヤ
ードを設置するのは難
しいということだった
ので、ストックヤード
がある自治会とない自
治会が上手にリンクす
るように、行政側から
指導していただき、ゴ
ミの減量と地域住民の
意識の啓発につなげら
れないか。

答

山本町長

ストックヤードも
そうだが、さまざま
機会を通じ、自治会の
一体的な運営と活動の
在り方を提案しながら、
有意義なものだと理解
してもらえらるよう説
明していきたい。

審議結果

議案5件と認定1件が提出され、審議しました。
結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第44号	平成28年度田子町一般会計補正予算（第3号） 歳入歳出にそれぞれ4200万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を47億7944万8千円とするもの。	可決 (賛10・否0)
議案第45号	平成28年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出にそれぞれ2821万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を11億63万5千円とするもの。	可決 (賛10・否0)
議案第46号	平成28年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出にそれぞれ881万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額を10億1732万7千円とするもの。	可決 (賛10・否0)
議案第47号	平成28年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出からそれぞれ123万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を4億4995万7千円とするもの。	可決 (賛10・否0)
議案第48号	平成28年度田子町水道事業特別会計補正予算（第2号） 水道事業収益に126万9千円を追加し、収入予算の総額を1億660万9千円とするもの。 水道事業費用に253万8千円を追加し、支出予算の総額を1億5640万6千円とするもの。	可決 (賛10・否0)
議案第49号	平成28年度田子町一般会計補正予算（第4号） 平成28年8月17日の台風7号、8月20日の大雨及び8月22日から23日にかけての台風9号による、災害調査費及び農林水産業施設並びに公共土木施設に係る災害復旧事業費の補正をしたもの。	可決 (賛10・否0)
認定第1号	平成27年度田子町各会計歳入歳出決算の認定	承認 (賛10・否0)

第2回臨時会

臨時会のあらまし

平成28年第2回臨時会は、8月26日の1日間の会期で開催されました。

専決処分した事件の承認1件と、補正予算案1件の2件の議案について町長から提案理由の説明があり、審議しました。

●報告第7号

専決処分した事件の承認

▽内容 老健たっこ自動車事故に係る示談契約及び損害賠償について
審議結果 承認

●議案第43号

平成28年度田子町一般会計補正予算（第2号）
▽内容 地方創生推進交付金事業に要する経費について補正するもの

▽審議結果 可決

一般質問

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。9月定例会では議員3人が一般質問を行いました。



議員 欠端則夫

鳥獣害について

【質問1】

鳥獣による被害実態はどれくらいか。周辺市町村との連携は。

【町長答弁】

昨年度の被害件数は9件で被害額は25万9千円。本年度は8月末現在23件で54万9千円と昨年度を上回っている。今後さらに近隣自治体との連絡体制を強化し、パトロール等を実施し事故の未然防止に努める。

【質問2】

ハンターの数と最近の増減は。また、町のハンター確保策は。

【町長答弁】

現在21名が有害鳥獣の駆除及び狩猟活動を行っている。23年度と比べ13名減少しており、ハンター確保策については猟友免許取得にかかる経費の一部を補助することで加入促進に努める。

耕作放棄地について

【質問1】

鳥獣害増加の一因として耕作放棄地があると思われるが現在どれくらいあるのか。

【町長答弁】

23年度は約183ha。27年度では約151ha

と約32haが解消されている。

【質問2】

耕作地へ戻す対策は。

【町長答弁】

耕作地へ再生する対策としては、耕作放棄

地再生対策事業を実施することとしており、

全戸配布チラシやケー

ブルテレビのほか、農

業関係団体等との連携

を図り、周知活動を進

めてまいる。

あるか。

【町長答弁】

耕作放棄地の移動については本年度は60aについて許可している

と農業委員会から伺っている。

耕作放棄地の移動は

【質問3】

畜産クラスター事業について

【質問】

最近、畜産クラスター事業という制度を利用して各地で牛舎や牛の導入を進めている地域があるが、事業の法律文を読んでも牛舎建設や牛の導入をどのようにするということがわからない。最低の条件はどうなるのか。

【町長答弁】

本事業の推進にあたっては「畜産クラスター協議会」を立ち上げ、「畜産クラスター計画」を作成し事業を実施していかなければならない。

現在、全国では566の協議会があり、青森県では4協議会があると伺っている。引き続き調査を進め、詳しい内容が分かり次第、情報提供する。



熊が実を取るために折った木



沢口博二 議員

シルバー人材センターについて

スポネットたつこについて

【質問】 二戸、三戸に既に設立されているが、町はその必要性を認識しているのか。

【町長答弁】

総論としては、その必要は望ましいものと考えているが、その運営等につき、今後、研究しなければならないと思っている。

【要望】

ぜひ、今後の情報収集を町にお願いしたい。

【質問1】

現在までの活動状況、それとスポネットの存在価値を知らせてもらいたい。

【教育長答弁】

スポネットは、国による総合型地域スポーツクラブとして推進されてきた。郡総合体育大会、ナイター競技、S-1グランプリ等の活動をしてきた。

【質問2】

今までの成果と、今後の方向性は。

【教育長答弁】

グルメマラソン、ス

道の駅構想

ノーフエスタ、フットサル大会の3事業を実施した。ただ、県のクラブアドバイザーの方からは、一般町民も運営に関われる組織が望ましいと指導があり、今後、その方向で調査・研究を進めたいと考えている。

【質問1】

現在ほどのような段階か。

【町長答弁】

現在は基礎的情報収集に努め、調査・検討を進めている。

【質問2】

本当にその必要性・可能性はあるのか。

【町長答弁】

6次産業化の推進とあわせ、認可条件、問題点等を調査、研究する。

【質問3】

その主体をどう考えているか。ガーリックセンターをそれに位置づけられないか。

【町長答弁】

田子町にんにく国際交流協会もその主体の一つと考えられるが、それらを含め、今後より良い在り方を調査・研究する。

空き家対策

【質問1】

空き家バンクの現在の状況はいかがか。

【町長答弁】

現在は、1件の売買が成立し、登録物件は1件のみ。今後、町のホームページで制度の周知をはかりたいと考えている。

【質問2】

お試し体験住宅の利用は進んでいるか。

【町長答弁】

27年度は2組の利用があり、28年度も2組の利用があった。

【質問3】

リフォームのみならず解体・撤去の助成制度も考えられないか。

【町長答弁】

町では今年度から、金融機関の空き家活用ローン活用の場合、その利息の2分の1助成を開始する予定である。また、国の助成もあるが要件が厳しくその要件整備の研究を進めたいと考えている。

アンテナショップ

【質問1】

現在の状況と臨時議会で決めた4300万円あまりの助成金の内容を教えてもらいたい。

【町長答弁】

これは国の地方創生

推進事業を活用したもので、北海道厚沢部町と広域官民協同組織の設立、共同アンテナショップ開設による商品開発、観光周遊ルート構築のためのモニターツアー実施等である。

【質問2】

アンテナショップの最終目標は何か。

【町長答弁】

北海道新幹線開業に伴い、厚沢部町と連携して交流人口を増加させ、定住・移住を進め、産業の育成につなげることを目的にアンテナショップをその基地としたいと考えている。

【質問3】

アンテナショップ営業の最終年度は。

【町長答弁】

今回の地方創生交付金事業は、28年から30年度となっているが、それ以降も続けたい。



尾形憲男 議員

たつこにんにくについて

【質問1】
商標について伺う。

【町長答弁】
「たつこにんにく」と

いう地域団体商標権は八戸農業協同組合が所有しており、今年11月に10年の更新時期を迎えるため、申請作業を進めていると伺っています。地域ブランドとして、その効果は非常に大きいものがある。

【要望】
ブランドイメージを崩さないよう、協議をしながらやっていただきたい。

【質問2】
増反計画について伺う。

【町長答弁】

「たつこにんにく産地力強化戦略」を見直している。平成28年産の栽培面積は132ha。需要に供給が足りない状況。面積拡大と良品質の確保につとめる。機械等の助成など総合的な支援を実施している。

【質問3】
指導体制について伺う。

【町長答弁】

県普及振興室や農協

などと共に青空教室を活用したり、指導情報を送付するなど、情報の共有や技術の普及体制をとっている。

【質問4-1】
種子事業について伺う。

【町長答弁】

平成27年3月に「田子1号」の種苗登録申請を行った。今年度は3haの作付予定。来年度には配布。配布計画を戦略本部において決定していく。「田子1号」のメリットは、形が良く病害虫に強い。また、更新時期が長くなること。

【質問4-2】
良い種を病気のあるほ場に植えても意味がないのでは。しっかりとしたほ場対策を。

【町長答弁】

センチユウは大きな課題なので、そこ専用の機械を用意した。また、他の畑に行かない。

他の畑に入った長靴で畑に入らないことを励行している。

【質問5-1】
種子販売について伺う。

【産業振興課長答弁】

10月に増殖委員会を開きたいと考えている。

【質問5-2】

10月だと植え付けが終盤になるのでは。必要量の計画は立てられるのか。

【町長答弁】

量を増やし、にんにく産業を支えたい。まずは150haをクリアし、200haという以前田子町でやっていた面積を将来的に望みたい。

【質問6】
たつこにんにくの販売について伺う。

【町長答弁】

「たつこにんにく」の販売が好調。その反面、産地偽装や標示疑義な

ど管理が課題。

【質問7-1】

加工事業について伺う。

【町長答弁】

黒にんにくの販売が好調なため、裾物の取引値段が上昇。原料の確保に苦労していると聞いている。検討課題だ。

【質問7-2】

ガーリックセンターでも商品のラインアップを増やし、収益を上げ、原料の増反につなげ、町民の収入につなげてほしい。

【副町長答弁】

ガーリックセンターでも黒にんにくを試験的に行いたい。商品開発も年に2つくらい出すように研究したい。

【質問8】

町内事業者について伺う。

【町長答弁】

黒にんにくを中心に

事業者が増え、活性化が図られている。

【質問9】
町内生産者について伺う。

【町長答弁】

生産者数は256名。高齢化が進んでいるため、新たな対策を実施していく。

【質問10】

たつこにんにく維持継続の対策は。

【町長答弁】

①オリジナル種子による差別化
②労働力、病害虫対策の支援の継続
③担い手確保対策の継続

議会活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会の参加、先進地の視察を行っています。

協議

○実施日 8月26日

議長との諮問を受け、8月26日開会の平成28年田子町議会第2回臨時会の議事日程等と、9月6日開会の平成28年第3回定例会の議事日程について協議を行った。

議会広報編集委員会

○実施日 7月4日

議会だより第88号の7月20日発行に向け、各自が担当した原稿の内容を確認し、誤字・脱字や、レイアウトについて校正した。

○実施日 8月26日

議会だより第89号の発行について、掲載内容と原稿を作成する担当者を決め、10月27日の発行を目標に作業することとした。

滞りのない 議会運営を

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 日沢一雄委員
尾形憲男委員 沢口博二委員

現地調査

○実施日 6月22日

各学校から運営等の説明を受け、校内一巡し授業参観を実施。

事務事業調査

○実施日 8月9日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【教育課関係】

9月補正予算で、清水頭小の暖房用ストーブ6台、上郷小の暖房用ジェットヒーター2台、田子中の外灯6基と体育館屋根の雨漏りと体育館屋根の雨漏り修繕の費用を計上。中央公民館では植樹柵の撤去と照明1基設置。上郷地区農村公園環境整備として樹木の伐採・撤去を予定。

【総務課関係】

普通交付税額は昨年比6659万円減。臨時財政対策債は昨年比3740万円減。どちらも国勢調査の結果によるもの。消防・防災関係では災害用備蓄品を補充した。

【政策推進課関係】

連携中枢都市圏の形成の取り組みは、今年度末には連携協約を整えたい。

【住民課関係】

防犯灯LED化整備工事は30年度までに完了予定。集会施設の改修では、宮野地区研修センターを補正予算で対応。

【税務課関係】

法人町民税と軽自動車税は多少増。一般税合計と国保税は若干の減。徴収対策を講じる。ふるさと納税の状況は件数減・金額は上回る。

現地調査での要望 一部を補正予算で対応

総務・文教常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長 宇藤大介委員
椛本義見委員 澤口勝委員

現地調査

○実施日 6月22日

ブローラー整備地、老朽化したトマトハウスの調査を行い資材提供等を要望した。あわせて、にんにく種子ほ場の調査も行った。

事務事業調査

○実施日 8月8日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【住民課関係】

保育園、学童保育の現状の説明を受けた。

【建設課関係】

町工事の状況、世紀越えトンネルのフォーラム開催、除雪車両の購入の説明があった。

9月補正では、有害鳥獣対策費、スキー場整備費、にんにくブランド管理費、種子増殖事業費を計上すること。アンテナショップについては、事業の詳細資料と再度の説明を要望した。

ブローラーと養豚場の整備 計画にスムーズな事業進行 を要望

産業・民生常任委員会

【構成委員】 沢口博二委員長 日沢一雄副委員長 蹴揚清人委員
砂子田康雄委員 欠端則夫委員



老朽化したトマトハウスのパイプ

秋田県鹿角市花輪ばやし



大いに盛り上がった花輪ばやし

8月19日、世紀越えトンネル建設加速化市町議会協

議会の活動が縁で
約30万人の観光客で賑わいます。
祭典は午後9時

秋田県鹿角市議会議長からご招待いただき、代々受け継がれた由緒ある花輪ばやしの祭典を見学することができました。このお祭りは毎年8月16日から20日にかけて5日間行われ、近隣はもとより県外、海外から約30万人の観光客で賑わっています。

(日沢一雄)

県下町村議会議員研修会



講師の川村晃司氏

7月14日、青森市のリンクモア平安閣市民ホールで、県下町村議会議員研修会が行われました。テレビ朝日コメンテーターの川村晃司氏を講師に迎え、「これからの政局・政治動向」と題して講演がありました。講演会では、これまでの政治動向を説明し、

7月14日、青森市のリンクモア平安閣市民ホールで、県下町村議会議員研修会が行われました。テレビ朝日コメンテーターの川村晃司氏を講師に迎え、「これからの政局・政治動向」と題して講演がありました。講演会では、これまでの政治動向を説明し、

ヘミウプソン歴史体験祭り訪問

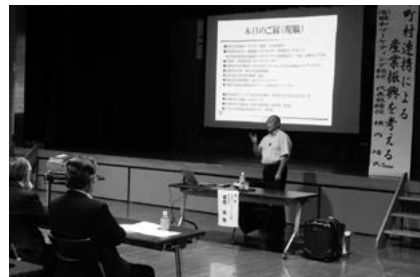


来場客を楽しませる多数の出店

10月7日から12日にかけて、当町の姉妹都市である大韓民国瑞山(ソサ

ン)市を訪問しました。今回は一番大きな祭りである「海美邑城(ヘミウプソン)歴史体験まつり」に招待していただきました。この祭りは毎年10月に開催されており、城壁に囲まれた広大な会場で、朝鮮時代の市民の生活や兵士の訓練など、その当

二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会定時総会



講師の横内靖氏

去る8月22日、一市二町の議会議員で構成する協議会の定時総会が開かれました。今年度(令和4年度)の当番町は田子町になっており、中央公民館ホールにて総会と議員研修が行われました。総会は報告1件と議案2件で参加議員の了承を得て可決され、終了しました。

(宮村尚哉)

町の方から ひと言インタビュー

町の方から、定例会を傍聴しての感想や、議会への意見など、お話を伺いました。ご協力ありがとうございました。

メディアでは
伝わらないものを感じました



田子町商工会会長
熊谷和広さん(53)
田子町生まれ。ビューティーパーラーくまがい代表取締役。2012年に田子町商工会会長に就任。

私は田子町商工会のお手伝いをしています関係で、今後関わりを持つであろう議案の審議を傍聴する目的で、初めて臨時会の傍聴席に足を運びました。当町の議会の内容は、ケーブルテレビでの議会放映、議会だよりによる活字での開示があり、議員の皆様の方の行政の生の声や政策を知ることができ、町民にとっては有意義なことと感じております。私もおかねてからケーブルテレビでの放映は積極的に視聴してはおりましたが、議場傍聴席は初めてでしたので、開会までの時間は「あら？意外と狭いのね」の第一印象をはじめ、ケーブルテレビの位置や時計の位置、議席の配置など興味深く拝見しました。

さて、今回初めて傍聴席に向いたのですが、傍聴人がメディア2社と私1人だけでした。臨時会なので内容が限られていたせいでしょうか。傍聴人が少ないと感じました。

これまでの私のように「テレビで知るから」「メディア情報で知るから」諸般な見方ができると思いますが、少々残念な感じがありました。今回身をもって体験してみても、議場の雰囲気、厳かさなどメディアでは伝わらないものを体感できました。これを皆様にもお勧めしたいと考えます。気軽に足を運んでみてはいかがでしょうか？

責任ある一票を通じて政治に参加することはもちろん、積極的にいろいろなその場に向かい、民意の代表者や行政と対話し、私たちの政治に私たちが、もうちょびつと参加してみるのも、住みよい町に住むための私たちの責務かもしれないなんて事を、原稿メ切間際で大急ぎで書き上げながら感じました。愚稿ですが誰かの何かのきっかけとなれば幸いです。ありがとうございました。

編集後記

一雨ごとに秋の訪れが感じられる候となりました。町民皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。今年は台風が多く、全国各地で甚大な被害があり、我が町でも被災された方々に衷心よりお見舞いを申しあげますと共に、我々議会議員一同、皆様の平素の安心、安全を堅持し、暮らしやすく住みやすい町づくりのため鋭意尽力してまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願ひ申しあげます。

宇藤大介

発行・編集責任者

議長 澤口 勝

議会広報編集委員会(第89号)

委員長 宮村 尚哉
副委員長 宇藤 大介
委員 日沢 一雄
尾形 憲男

執筆協力

欠端 則夫
熊谷 和広